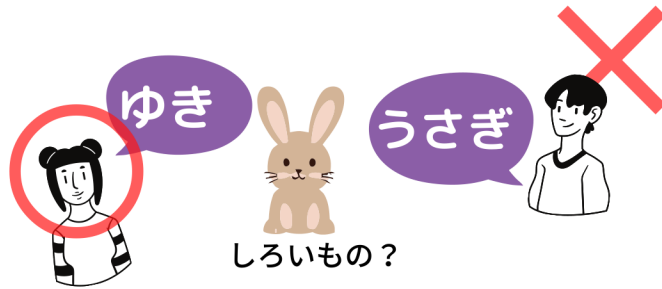


【5】あそびかた（つづき）



じぶんの本のなかにある「もじ」をくみあわせて「しろいもの」をかんがえてみよう。「しろいもの」にはどんなものがある？

「ゆき!」「とうふ!」「うさぎ!」
でもさ、うさぎにはくろい子も、ちゃいろの子もいるから「うさぎ」を「しろいもの」の「ことば」にはつかえないよね。

こんなふう「もじ」をくみあわせてつくった「ことば」が、○か×か、みんなできめてね。

5.ともだちから本をもらう

くみあわせたい「もじ」がたりないとき、おともだちがもっている「魔法の本」や「図書館の本」をゆずってもらえないか、きいてみていいよ。

ゆずってほしいといわれた人は、じぶんの本はへってしまうから、あげてもよいか、よくかんがえてへんじをしてね。

それから「はじまりの本」はあげられないから、きをつけてね。

6.困りごとにぴったりの「ことば」をつくれた!

むらの困りごとにあう「ことば」をつくれて、むらをたすけてあげることができたら「魔法の本1さつ」と「おはじき1つ」もらえるよ。ボーナスマークつきは「魔法の本2さつ」と「おはじき2つ」もらえるよ。

「ことば」をみつけた人は、まんなかの「困りごと」を1まいめくって、あたらしいむらをつくってね。

そのよこに「魔法の本」もならべてあげてね。

「ことば」をつくりおわった「困りごと」のカードは、うらがえしにしてはこにしまってね。

そして、つぎのまほうつかいのじゅんばんだよ。

7.「ことば」がどうしてもつけれない・・・

そんなときは「パス」をして、つぎのまほうつかいにじゅんばんをゆずろう。そして、おはじきを1つぎんこうにもどして「図書館の本」をかりておこう。あたらしくてにいられた「図書館の本」の「もじ」は、つぎにじぶんのじゅんばんがきたときにつかえるよ。

8「終わりのことば」をかんがえよう

むらの困りごとをたくさんかいついたら、みんなの本も、本の「もじ」もふえてきたよ。みんなの「もじ」をくみあわせて「終わりのことば」をつくることができたなら、すぐにてをあげて「できたよ!」とみんなにしらせよう。そして「終わりのことば」をおおきなこえでいおう。

「終わりのことば」をみつけたひとは、ごほうびに「おはじき3つ」もらえるよ。



9.つぎのレベルにすすむ

「終わりのことば」がつくれたら、そのレベルをクリアできて、まほうがっこうの2ねんせいになることができるよ!

レベル3をクリアしたら、まほうがっこうはそつぎょうだよ。

10.いちばんのまほうがっこうのせいとはだれかな?

ゲームのさいごに、いちばんたくさんおはじきをもっている人が、たくさんむらをたすけた人だよ。

みんな、よくがんばったね!おめでとう!

【6】こまったとき

ゲームのことでしつもんがあったり、こまったときは、おとうさんおかあさんや、がっこうのせんせいといっしょに、ここにメールをおくってね。
おへんじするね。

アドレス
info@findingme.jp



【7】大人の方へ（子ども用ルールについて）

低年齢で点数の計算がまだ難しいお子さまでもLwSiゲームを楽しめるように、子ども用ルールでは点数を可視化する目的で「おはじき」を使用しています。遊ぶ際にはおはじきをご用意ください。

また、「はじまりの本」のことば数だけで困りごとを解決する言葉を作るのは、お子さまには難易度が高すぎるため、最初から「魔法の本」を2冊ずつ配るルールにアレンジしてあります。

大人用のルールとは若干内容が異なりますが、お子様と相談しながら、年齢に応じたルールで遊ぶように見守ってあげてください。

